

公の施設目標管理型評価書【新潟市水族館】

別紙 2

施 設 名	新潟市水族館			
管 理 者 名	(公財)新潟市海洋河川文化財団	指 定 期 間	令和6年4月1日	～ 令和11年3月31日
担 当 課	文化スポーツ部文化政策課			
所 在 地	新潟市中央区西船見町5932番地445			
根 拠 法 令	—			
設 置 条 例	新潟市水族館条例			
施 設 概 要	設 置:平成2年7月(平成25年7月リニューアル) 建物構造:鉄筋コンクリート造 地上2階・地下1階 施設規模:本館、別館、イルカショープール、イルカ屋内プール、ペンギン海岸 マリンサファリ 他 団体休憩室(大人150人)、にいがたフィールド 料金区分:大人1,500円、小学生・中学生600円、幼児200円			

施 設 設 置 目 的
魚類、海獣、その他水生生物(以下「魚類等」という。)に関する知識を広め、魚類等への親しみを深めることにより、市民の教養と健全な余暇の活用に資する(新潟市水族館条例第1条)
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 、 方 針 等
新潟市水族館は、「環境と生物と人との出会いの場」という理念のもと、以下に掲げる基本的な使命を通して「次代を担う青少年の教育機能」「市民が気軽に楽しめる文化施設」「観光都市新潟」の核となる施設」という役割を担っている。 ① 環境と生物との出会い 水族館の敷地は、日本海を臨み松林に囲まれた良好な環境にあることから、水族館はそこに立地するにふさわしい環境と生物との出会いの広場とする。 ② 新鮮な感動と豊かな情操を育む 生命を知ることにより得られる新鮮な感動を通じて、次代を担う青少年の情操教育に資する水族館とする。 ③ 種の保存と自然保護 飼育技術の一層の向上と国内外の水族館・動物園・水産研究所との情報交換・調査研究活動などにより、水族館の社会的使命である「種の保存」と「自然保護」の啓発に努める。 ④ 学習の場として 児童・生徒が、生物の生態を学習できると同時に、入館者の様々な知的欲求にも答えることができる博物館的機能を備えた水族館とする。 ⑤ レクリエーションの場として 文化的レクリエーション施設として、楽しく学習できるよう娯楽性を取り入れる。 ⑥ 「水の都 にいがた」のシンボルとして 日本海、信濃川など「水の都、にいがた」を特色づけている自然と風土を生かしながら、対岸諸国をはじめ世界の魚類や海獣類等を紹介し、北東アジアの拠点都市にふさわしい水族館とする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準利用者数の達成	入館者数 年間54万人以上	555,093人…評価指標 より15,093人多い	A	評価指標を上回り、評 価できる
		年間パスポート購入者数 年間14,000人以上	15,723人…評価指標 より1,723人多い	A	評価指標を上回り、評 価できる
	広報の充実	ホームページ(SNS含む) 更新件数 週平均7回以上	週平均 10回以上	A	評価指標を上回り、評 価できる
		テレビ・新聞など 県外向け広報を実施	山形、福島などへのテ レビCMのほか、全国 雑誌やX、Instagramの WEB広告を実施したほ か、新たに東京エリア への後方のため、都市 部6駅にフリーペーパー を設置した。	A	新たな取組を行っており、評価できる
	入館者満足度	館内アンケートの「生き物の展 示に対する満足度」で「満足」 「どちらかというと満足」が90% 以上	満足及び非常に満足… 96.4%	A	評価指標を上回る満足 度で評価できる
		館内アンケートの「イルカ ショーや給餌解説などに対す る満足度」で「満足」「どちらか というと満足」が90%以上	満足及び非常に満足… 94.5%	A	評価指標を上回る満足 度で評価できる
		館内アンケートの「券売窓口で の接客に対する満足度」で「満 足」「どちらかというと満足」が 90%以上	満足及び非常に満足… 87.2%	C	満足度が評価指標を下回っ た理由や背景を分析すること や、アンケートの内容を精査 するなど正確な情報を取得 する方法を検討するなどの改 善を図ってほしい。
	苦情・要望に対する対応	回答を要するものは2週間以 内に連絡を実施(回答が遅れ る旨の連絡でも可)	ホームページ及び市長の 手紙への苦情・要望に対 し、回答を迅速(1週間以 内)に対応	A	指標の半分の期間で 迅速に対応しており、 評価できる
	事業等の実施	体験・学習ゾーンでのプログラ ム参加者数 年間2,000人以上	磯のいきもの解説、ア クアラボ体験参加者 6,237人	A	評価指標を大きく上回 り、評価できる
		設置目的に合致した特別展示 年間250日以上実施	企画展示「ふるさと新潟の 魚」「ROVで迫る日本海の 深海」など年間317日	A	評価指標を大きく上回 り、評価できる
	事業計画書に即した 自主事業の実施	野外での体験学習プログラム 年間2回以上実施	スナガニ観察会、貝の標 本づくり3回(1回は荒天の ため中止)	B	実施計画は評価指標を上 回っており、水族館に帰責の ない理由で実施できなかった だけであり、評価できるものと 判断する。
		参加型のイベントや外部講師 による講演会 年間7回以上実施	マリンビアカレッジ、講演 会、いきもの教室、田んぼ 体験、写真教室16回	A	評価指標を大きく上回 り、評価できる
		ガイドプログラム 年間10回以上実施	ナイトツアー、イルカバック ヤードミニガイド、にいがた フィールドガイドなど21回	A	評価指標を大きく上回 り、評価できる
	自然・環境保護活動の実施	自然保護団体等の活動への 協力	地元保護団体の観察会へ の協力、行政などとの協力	B	
		専門的な研究の報告 年間5件以上(継続を含む)	「コシノハゼの保全活動」 「ウミガラス雛へのサブリメ ント投与」など6件	B	評価指標を上回り、評 価できる
	社会教育活動の実施	ボランティア会員の活動延べ 人数 年間350人以上	登録者数103人、延べ 活動人数345人	B	参加者数は、水族館でコント ロールできないところもあり、 おおむね達成できていると評 価
		学習支援の受け入れ 年間30団体以上	64団体2,124人	A	評価指標を大きく上回 り、評価できる
		出張展示で生体展示やパネル 展示を実施 (ライブ配信含む)	にいがた環境フェスティ バル2024出展、県立がんセ ンター新潟病棟小児病棟 へのライブ配信など	B	
		実習生の受け入れ 年間15人以上	22人	A	評価指標を上回り、評 価できる

財 務	市の歳入の増加	使用料収入 460,637千円以上	483,151,032円…評価指標 より122,514,032円多い	A	評価指標を大きく上回 り、評価できる
業 務	業務仕様書等に 定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の 遵守	業務仕様書等に定める 事項を遵守	B	
	日常連絡の適切さ	月次報告書 翌月10日までに提出	翌月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の 適切さ	事業報告書 翌年度4月30日までに提出	翌年度4月30日までに 提出	B	
	改善を必要とする際の 対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は速 やかにそれに対応	改善勧告なし	B	
	安全責任者の配置と 安全確保体制の確立	連絡体制の確立	緊急連絡網、危機管理 フロー	B	
	事件・事故発生時対応の 適切さ	防災訓練年1回実施	防災訓練年2回実施、非常 放送を用いた館内放送を 実施	A	評価指標を上回り、評 価できる
	当該施設の管理に係る 関係法令の遵守	コンプライアンス及びハラスメ ント対策の実施	職員によるコンプライア ンス及びハラスメント研修の 実施	B	
		守秘義務違反に該当する問題 がないこと	問題なし	B	
人 材	専門性の高い人材の配置	館の各業務に必要な専門的知 識や技能、経験、資格等を備 えた職員を配置	業務基準及び業務で必 要な有資格者を配置	B	
	職員の育成	館内研修を年5回以上実施	インクルーシブ研修、化学薬品 取扱研修、アナウンス研修、バ ッハラ研修など延べ14回	A	評価指標を大きく上回 り、評価できる
		館外の研究会や研修会等に 参加	(公社)日本動物園水族館 協会主催の各種研修会など に多数参加	A	予定していた計画に加え、新 たに3件研修会へ参加し、職 員の能力向上に努めたこと は、評価できる。
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題 がないこと	問題なし	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和6年度の入館者数は、555,093人(対前年度比102.2%)とリニューアル直後を除いて最も多い入館者数となった。物価高騰や異常気象などの影響はあったものの、コロナ禍後の外出意欲の高まりは継続しており、多くの方にご来館いただいた。入館料収入についても483,151,032円と前年度を上回った。また、年間パスポートの購入者数とリピーターを合わせて約90,000人の方が利用され、依然として人気は高い。今後も積極的な広報・宣伝活動を行い、さらに販売数の増加を図りたい。

また、専門的な知識・技能を持った職員を配置し、ハンズオン展示や教育効果の高いプログラムを数多く実施した。多くの方に学びの場を提供するとともに、効率的で円滑な運営に努めた。また、継続して毎月実施しているお客様アンケート調査でも展示生物や解説プログラムに対して高評価を受けており、接客についてさらに積極的な声かけを行っていききたい。

経費については、物価高騰や人件費の上昇が続く中、指定管理者として出来る限り節約に努め適切に執行した。建物・設備では、依然として様々な箇所で大規模な不具合が発生している。今後も修繕工事を伴う経費が嵩むことが予想されることから、日常的・定期的に点検を行い、不具合を未然に防ぎ、早期に発見することで被害・損害を少なくするよう努めたい。

当財団は、水族館の指定管理者として令和6年度から新たに5年間の指定を受けた。これまでに積み上げている知識、技術、経験、また全国的なネットワークを十分に生かし、引き続き新潟市水族館の指定管理者として来館者の安心・安全を第一に考え、一層の来館者の満足度向上に努める。そして、新潟市水族館の設置目的と「新潟で一番愛される施設」という私たちのビジョンを達成し、併せて法人としても健全な運営を行っていく。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

現地調査日 令和7年7月18日
 令和6年度より新たな指定管理期間が始まり、入館者数及び入館料収入についてはいずれも評価指標を上回る結果となり、順調な始まりとなった。一方で、今年度より新たに設定した「券売窓口での接客に対する満足度」については評価指標を達成できておらず、原因の分析及び達成に向けた改善を図られたい。

燃料費高騰だけではなく、生物飼料の高騰など日々環境が厳しくなる中で、常に改善・経費節減に取り組み、安定的な施設運営、かつ健全な法人経営を行っていることについて高く評価したい。

本施設は、社会教育施設の他に、観光施設という側面も担っており、本市にとって重要な施設である。これからも魅力的な展示や事業を展開し、県内外からの入館者数の増加を図るとともに、新潟を代表する施設として発展を期待している。